

**自宅での仕事・学習の印刷を高生産性と低ランニングコストでサポート
「GIGA TANK」搭載のインクジェット複合機「G3360」を発売**

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したインクジェットプリンターの新製品として、カラー複合機「G3360」を2020年11月12日に発売します。



G3360

「新しい生活様式」が日常生活へ浸透し、クラウドなどのインターネットサービスを介して自宅で仕事や学習を行う機会が大きく増加しました。これにともない、自宅で書類や学習課題などの文書を大量に印刷するニーズが高まっています。新製品は、従来機種「G3310」（2018年2月発売）の顔料ブラックインク採用によるにじみの少ない高濃度な黒文字印刷を継承しながら、普通紙への印刷スピードの高速化とユーザビリティの向上を実現した「GIGA TANK」搭載モデルです。自宅での仕事や学習を、高い生産性と低ランニングコストで、プリント面から力強くサポートします。

■ 「GIGA TANK」搭載により高生産性と低ランニングコストを自宅で実現

ブラックインクボトル（別売り）1本分の容量でA4約7,600ページ^{※1}、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー・別売り）の場合はA4約7,700ページ^{※1}の大量印刷が可能です。また、インクコストはA4モノクロ文書1ページ当たり約0.4円^{※2}、A4カラー文書1ページ当たり約0.9円^{※2}と低ランニングコストを実現しています。さらに、印刷速度は、A4モノクロ文書で毎分約10.8枚^{※3}、A4カラー文書で毎分約6.0枚^{※3}と従来機種から高速化し、大量印刷時に高い生産性を発揮します。

■ 簡単に正確なインク補充をはじめとするユーザビリティの向上

インクボトルをインクタンクの注入口に挿すだけでインクの注入が始まり、いっぱいになると自動的に注入が停止するため、簡単にインク補充を行うことができます。また、インクボトルとインクタンクの注入口の接合部分に、色ごとに異なる形状を採用することで、誤った色のインク注入を防止します。さらに、メンテナンスカートリッジ^{※4}（別売り）を自分で簡単に交換できるため、短いダウンタイムで印刷を再開することが可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
G3360	オープン価格	2020年11月12日

※1 エコノミーモード時。標準モード時はブラック約6,000ページ、カラー約7,700ページ。印字可能枚数は、A4カラー文書ISO/IEC 24712を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填（じゅうてん）したインクボトルではなく、2回目以降に充填するインクボトルを使用して算出しています。
 ※2 税別。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」<一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定>に従い記載。測定環境の詳細は、キヤノンホームページ参照。
 ※3 普通紙への文書印刷速度はISO/IEC 24734のオフィスカテゴリテストによる片面印刷ESAT（Estimated Saturated Throughput）の平均値です。
 ※4 ヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で使用したインクを吸収するための取り換え用カートリッジ。

● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター 050-555-90067
 ● ビジネスインクジェットプリンター ホームページ：canon.jp/bij

<主な特長>

1. 「GIGA TANK」搭載により高生産性と低ランニングコストを自宅で実現

- ・特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載し、文書の大量印刷で使用することの多いブラック 2 本とカラー各色 1 本ずつのインクボトルを本体に同梱。
- ・ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 7,600 ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー・別売り）の場合は A4 約 7,700 ページの大量印刷が可能。
- ・インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページ当たり約 0.4 円、A4 カラー文書 1 ページ当たり約 0.9 円と低ランニングコストを実現。
- ・高密度プリントヘッド技術「FINE」により、A4 モノクロ文書で毎分約 10.8 枚、A4 カラー文書で毎分約 6.0 枚の高速印刷を実現。自宅で書類や学習課題などの文書を大量に印刷する際に高い生産性を発揮。
- ・顔料ブラックインクと染料カラーインク 3 色の 4 色ハイブリッドインクと高度な画像処理技術により、にじみが少なく高濃度の黒文字印刷と、くっきりと視認性に優れた高画質なカラー印刷が可能。

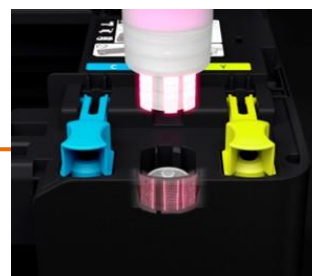
2. 簡単で正確なインク補充をはじめとするユーザビリティの向上

- ・インクボトルをインクタンクの注入口に挿すだけでインクの注入が始まり、いっぱいになると自動的に注入が停止するため、簡単にインク補充が可能。
- ・インクボトルとインクタンクの注入口の接合部分に、色ごとに異なる形状を採用することで、誤った色のインク注入を防止。

インクタンクのキャップと
インクの色を一致させることで
適切な注入口を
一目で判別可能



色ごとに形状が異なる
インクタンクとインクボトルの
注入口の接合部分



- ・メンテナンスカートリッジやプリントヘッドを自宅で簡単に交換が可能（ともに別売り）。これにより、短いダウンタイムで印刷を再開することが可能。
- ・各種設定等を文章やステータスバーで確認できる 2 行表示の液晶パネルを採用。印刷枚数などの英数字のみが簡易表示される従来機種のパネルから進化させることで、画質やコピー時の濃度などを、ステータスバーを用いてプリンター本体で細かく調整が可能。エラーも文章で表示されプリンターの状態が一目で確認できるため、使いやすさが大幅に向上。
- ・省電力に貢献する「自動電源 ON/OFF」機能を搭載。PC やスマホからの印刷指示で自動的にプリンターの電源が ON になり、使用後は設定した時間で電源が OFF になるため、印刷のたびにプリンター本体で電源ボタンを ON/OFF する作業が不要。



メンテナンスカートリッジは
プリンター背面から
ユーザー自身で交換可能

3. 幅広い用紙対応やクラウド・スマホ連携などの多彩な機能

- ・用紙への対応力を大幅に強化。普通紙印刷では、最長 1,200mm まで印刷することができ、バナーなどの作成に好適（幅は最長 216mm）。
- ・オンライン学習を支援する学習プラットフォーム「Google Classroom」に対応。教育機関や学習塾など、さまざまな場面で利用されている「Google Classroom」上で、先生から配布された課題や解答用紙などの書類を自宅で簡単に印刷することが可能^{※1}。
- ・無料スマホアプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」を使うことで、スマホやタブレット内の文書をワイヤレスでプリントできるほか、スマホからコピーやスキャンなどの本体操作も可能。本アプリから「PIXUS クラウドリンク」を利用して、各種ストレージサービスや SNS などと連携し、これらの汎用（はんよう）クラウドサービス上の文書や写真を印刷することが可能。これにより、自宅での仕事や学習を力強くサポート。
- ・「AirPrint」や「Mopria Print Service」などのモバイルプリントに対応しているため、スマホやタブレットなどのモバイル機器からプリントが可能。
- ・「ワイヤレスコネクトボタン」を新たに搭載することで、プリンター本体から PC やスマホと簡単に Wi-Fi 接続が可能。
- ・「新しい生活様式」の実践を促すテンプレートやクリップアートを提供する PC 用ソフトウェア「PosterArtist Lite」（無償）が利用可能。手洗いの促進やソーシャルディスタンス維持などの注意を喚起するポスターやチラシを簡単に作成可能。
- ・多彩なアイテムを印刷して楽しむことができる「Creative Park」（ウェブサイト/無料スマホアプリ）に対応^{※2}。予定管理に便利なカレンダーやお部屋を彩るデコレーショングッズをはじめ、ぬりえやまちがいさがしなど子どもが家で過ごす時間に好適なアイテムが印刷可能。
- ・好きな写真やイラストを使ってオリジナルの T シャツやバッグの作成が可能。「アイロンプリントシート」（2019 年 11 月発売）や、マグネットにして飾ることができる「オリジナルマグネットシート」（2018 年 11 月発売）など、多彩な用紙にも対応。

※1 あらかじめプリンターを登録しておく必要があります。本サービスの利用には、無料スマホアプリ「Canon Print Inkjet/SELPHY」が必要です。

※2 一部機能の利用には事前に「Canon ID」の登録が必要です。ウェブサイトとアプリで公開されているコンテンツ数が異なります。

<インクジェットプリンターの市場動向>

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2019 年の出荷台数は国内では約 386 万台、全世界では約 5,693 万台でした^{※1}。2020 年の出荷台数については国内では約 347 万台、全世界では約 5,127 万台と見込まれています^{※2}。

※1 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2020Q2

※2 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker Forecast, 2020Q2

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

* AirPrint は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

* Mopria®, Mopria® ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。許可なく使用することはできません。

* その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。